巻頭言

卒業生の皆さんへ

同窓会長　佐藤　正樹

◆4期◆

平成最後の卒業生として同窓会に入会された皆様に対し、会員を代表して心より歓迎の意を表します。就職先、進学先で皆様の新しい生活が充実したものとなるよう祈念いたします。元号が変わり、これからは私たちがまだ経験したことのない変化が次々と起こると思いますが、皆様が柔軟に変化に対応して新しい時代を作っていってくれると信じております。

私が卒業して現在の会社に就職したのは昭和五十九年でした。就職先は製造業であり、工作機械や手作業で仕事をする会社でした。先輩の多くは、工業高校出身や、職業訓練校の出身者、都会で手に職を付けて帰ってきた「職工」と云われる人たちが大半の職場でした。普通高校卒業の私の最初の仕事は、物や機械の名前を覚えること、図面の見方を覚えること、工作機械の操作方法を覚えること、道具の手入れを覚えること等、やる事だらけだったのを思い出します。ドリル一本研ぐにも、先輩がこんな感じ！と手本は見せてくれましたが、見た目は同じでも全く穴が開かなかったり、すぐに切れなくなったりで、何が違うかさっぱり解らない日々を過ごした記憶があります。当時は、私たちの業界では人の感性に頼るところが多く、体で覚えるという言い方がまさに当てはまる時代でした。今は、車のエンジンが一発でかかるのは当たり前ですが、当時の中古車などは、寒かったりするとアクセルを二、三回踏んづけてからエンジンをかけなければかからないといった具合に、機械や道具を使うために特有の癖をつかみ使いこなすという、熟練のコツが必要な時代でした。私たちの会社の工作機械を操作するためには、音、振動、加工中の油の焼けるにおい、削りかすの色、加工面の手触りなど、まさに五感を駆使しなければ身に付かない時代でした。毎日覚えることだらけで大変でしたが、知識や技能が身に付いていっているというのが結構楽しかったような気もします。失敗した時は大分怒られもしましたが、知らず知らずのうちに仕事を覚えていったという感覚でした。

現在、産業界は第四次産業革命といわれる時代になりました。IOTやAIを駆使して、いかに高能率で生産性を上げるかで企業は生き残りを賭けることになるでしょう。今、人に頼っている仕事もやがては自動化、AI化によって人が関わるものでは無くなり、人の仕事の内容は大きく変化していくと思われます。当然、それらのシステムを運用するためのデジタルな知識、技能が必要になるでしょうし、働き方も変わっていくでしょう。皆さんは、これからそういったニーズに対応していくことが求められます。簡単な事ではないと思いますが、皆さんには日々変わっていく技術に対応し、これからの新しい時代を切り拓いていって欲しいものです。

発行者
秋田県立
仁賀保高等学校
同窓会事務局
TEL(0184)43－4791
http://nikaho-hsaa.com/

同窓会総会報告

平成三〇年九月二九日、午後五時よりにかほ市のホテルエクセルキクスイにて、同窓会定時総会を行いました。

第十代校長碓井隆様、第十四代校長加藤高行様、第十六代校長加藤竜悦様、旧職員加藤昌雄様の来賓をお迎えし、佐藤正樹会長、猪股清子校長よりご挨拶をいただきました。校長挨拶の際に昨年度寄贈いただいたドローンの映像を使った学校紹介ビデオが上映され、普段見られない上空からの校舎・施設風景を観賞したあと、議事に入りました。

平成二十九年度会務報告・同会計決算報告・会計監査報告においては、昨年度の創立四十周年記念事業に関する報告を含めて説明が行われ、拍手で承認されました。

次に平成三〇年度事業計画案・同会計予算案について提案があり、予算項目の四十周年記念事業費の削除について提案がありました。これらについても拍手で承認されました。

続いて、役員改選について提案があり、会長・副会長・会計監査を投票によって選出しました。また、新会長の推薦により、理事五名を選出承認しました。新しい同窓会役員は以下の通りです。

会　長　四期　佐藤　正樹
副会長　四期　亀山　純
副会長　五期　金　春彦
会計監査　二期　今野まり子
会計監査　八期　佐藤　美生
会計監査　二一期　伊藤　弘美
理　事　一期　佐藤　豊
理　事　一期　鎌田　陽子
理　事　一期　新美　誠
理　事　二期　金子　英紀
理　事　四期　渡部　幸悦

最後に、平成二〇年から休会扱いとなっていました本同窓会関東支部について、昨年度第四回役員会にて協議した結果、廃止することとした事項の報告があり、会則から削除する事について提案がありました。これについて審議した結果、廃止を決定し会則から削除することとなりました。

議事は以上となり、定時総会は終了しました。定時総会は二年に一回となっており、来年度は年次総会として行います。

総会の後は懇親会を行いました。ビュッフェ形式で懐かしい顔との再会を楽しみ、総務部主任早藤素史先生の指揮の下、校歌を斉唱して閉幕しました。

平成30年度 部活動活動報告（中央地区入賞以上）

山岳部
中央支部総体　第3位
Aパーティ

吹奏楽部
中央地区　全日本吹奏楽コンクール　銀賞　高校小編成の部

演劇部
秋田県高校演劇発表会
最優秀賞　生徒講評部門
備前　遥
（東北大会出場）

写真部
秋田県高校写真連盟展
入選
伊藤　樹里
安保　伶音
佐藤　優龍

美術部
秋田県美術展覧会デザインの部　入選
佐藤　麗奈
秋田県高校文化祭総合美術展写真部門　推奨
伊藤　樹里
佐藤　樹里
秋田県高校文化祭総合美術展絵画部門　推奨
高田　こころ
秋田県高校文化祭総合美術展デザイン部門　推奨
高田　こころ
小川　莉穂
同　入選
加藤　大季
佐々木　緋
佐々木　ミミ

文芸部
秋田県高等学校文芸作品コンクール小説部門
第三席　備前　遥
秋田県高等学校文芸作品コンクール詩部門
第三席　備前　遥
菅原　友紀菜